

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



令和元年
10月号

暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください。



麻布 善福寺

今月の予定

- | | | |
|--------|---------|---------------------------|
| 3日(木) | 午後2時 | 評議員会臨時役員会 |
| 5日(土) | 午後3時 | 第7回燈炬塾 |
| 12日(土) | 午後6時 | 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く 法話:仲井 真裕 |
| 13日(日) | 午後2時 | 城南ブロック会総会聞法会 場所:三茶しゃれなあと |
| 16日(水) | 午後1時半 | 婦人会聞法会 |
| 17日(木) | 午後1時半 | 『歎異抄』に聞く 講師:宗 正元師 |
| 19日(土) | 午後1時半 | 定例聞法会 |
| | 午後3時15分 | 混声合唱団「エコー」練習 |
| 20日(日) | 午後2時 | 城西ブロック会聞法会 場所:NATULUCK市ヶ谷 |
| 22日(火) | | 青年会 秋のレクレーション |
| 23日(水) | 午前10時 | 仏具磨き |
| 25日(金) | 午後3時 | 総代会 |
| 26日(土) | 午前10分半 | 混声合唱団「エコー」練習 |
| 27日(日) | 午後2時 | 城東ブロック会聞法会 場所:金町地区センター |



10月の山門の言葉

年中いただける 冷凍秋刀魚 「旬」が希薄の時代

えこおファイル在庫あります。

「やっぱり秋刀魚は秋が一番美味しい」
冷凍技術が発達したが故に言えることだ
ろう。今食べずにこれからのために冷凍
する。

大学生が会社通い、何かと思えば「イン
ターンシップ」。特定の職の経験をつむた
めに、企業や組織において労働に従事し
ている期間のことだそう。大学生では
常識となりつつある。これからのための
準備として必要なだろう。

しかし、自分のやりたいことを探すの
ではなく、気に入ってもらって内定を貰
うために行っている学生も多いようだ。
即戦力やスピード化の時代が生み出して
きた制度だと感じる。未来に追い立てら
れ、焦り、不安が膨らんでいく。若人が「老
後の二千万」に動揺する。

「これからのため」が増大し、「今しか出
来ないこと」「今すべきこと」が忘れられ
てないだろうか。それをゆっくり考える
間もない。

学生のみならず、どの人にも与えられ
た旬があるはずだ。冷凍秋刀魚にだけは
なりたくない。

(山崎 哲記)



私は
こう聞いた!!

九月に掲げた山門の言葉
「私には 和え物の材料ですから」
を皆さんはどう聞いたのか、
お尋ねしました。



確かに、自己主張ばかり
や他人の力を借りずに頑張
るより、協調性や時には周り
を頼ったほうがうまくいく(お
いしくなる)と思います。

(30代 専業主婦)



名女優の言葉に啓発された。古代ギリシアの哲学者アリストテ
レスが言った、「人間は社会的動物である」と同義と解釈できた。

これから生きる21世紀の社会は、経済や科学の成熟化とあい
まって、「個」や多様性への指向を更に強めていく。そういった社
会の方向性の中で自己実現の可能性を広げていくために、社会構
成員としての共通の基盤は、必要最低限でありながら、より強固に
共有されていかなければならない。それはまさに、一つ一つの材
料の調和がとれ、和え物となるように。

社会の構成員として、「個」と公共の調和を教えられた。

(20代男性)



今回も先月号に続き江戸触頭の取材に行ってきました。今回は浅草にある浄土真宗東本願寺派本山東本願寺さんと築地にある浄土真宗本願寺派築地本願寺さんをご紹介します。



■浄土真宗東本願寺派 本山東本願寺 (東京都台東区西浅草1-5-5)

徳川家康の命で教如上人(東本願寺第12代法主)が天正19(1591)年に江戸筋違門外(現在の千代田区外神田)に光瑞寺を創建。慶長14(1609)年に神田明神下へ移転し、靈如上人の頃(寛永)改めて本願寺末刹(末寺)と称し、明暦の大火の後、現在の地に移転。広い寺域と多くの堂塔をもち、正徳元(1711)年以降朝鮮通信使の宿舎となっていました。度重なる火災のために再建を繰り返し、現在の本堂は昭和14(1939)年に再建されたものです。



本堂



親鸞聖人座像



阿弥陀如来立像(都指定有形文化財)

■浄土真宗本願寺派 築地本願寺 (東京都中央区築地3-15-1)

浅草の横山町に坊舎が建立され、「お西さま」、「江戸浅草御堂」と呼ばれていました。江戸幕府の諸制度の形成期に整備され、寛永2(1625)年に幕府から公認されました。しかし明暦の大火によって焼失し、同地での再建は幕府の都市改造にかなわず、現在の地に移転しました。当時は海上であり、摂津国(大阪)から移住した佃島の漁師たちを中心とする多くの門徒が海の埋め立てを行って寺地を築き、明暦4(1658)年、仮御坊が建立され、延宝7(1679)年、新御堂が完成し、「築地御坊」と呼ばれるようになりました。

江戸幕府の寺社奉行からの文書の受領や、寺院からの寺社奉行への願書を取り次ぐ触頭の任にあたり、また関東の寺院を統括する役割を果たしていました。(築地本願寺の歴史参照)

海を埋め立て地を築いたことから「築地」という地名になったそうです。



本堂



親鸞聖人絵像



阿弥陀如来立像

西徳寺も含め、幾度も火災や天災に遭い損失してきましたが、その度に門信徒の方々の懸命な支えがあったからこそ、今日まで残すことができたのはまぎれもない事実でしょう。改めて寺が多くの人のご縁の中で護持発展してきたのだと感じました。他との関係が希薄になってきた現代において、決して忘れてはいけない原点ともいべき大切なことではないでしょうか。



法語カレンダー 十月

「信心」というのは

すなわち本願力回向の
信心なり

大学時代、キャンパスに現れた上品なご老人。私と友人達の前で立ち止まり、「財布を落としました、お金を貸して下さい。明日お届けに上がります…」と拝まれた。一人の友人がおもむろに財布を出したが、皆で折半することにした。しかし、二度とその老人と会うことは無かった。後日、最初に出した友人を責め大騒ぎ。老人の身なりの良さに騙された。皆がプラスαのバックを期待していることが分かった。騙した老人に憤り、最初に出した友人に責任転嫁してみるけども、自分の信じる心はアテにならないことだけは知らされた。事実には頷かざるを得ない時こそ、本願力が回向された瞬間だ…それにしても当時の千円は大金だ。
(山崎 哲)

Shinjin is the entrusting heart that is directed to beings through the power of the Primal Vow.

語句説明

entrust: 委ねる、任せる

direct: 向ける、道を教える beings: 存在

primal: 根本の、第一の vow: 願い、誓願

一口メモ

信心は「私が信じる心」ではなくて、「阿弥陀仏の願いから存在(衆生)に差し向けられている心」なんですね。自分が信じる心は自力信心、阿弥陀さんからいただく心は他力信心。私の日頃の信心はどちらでしょう。

年間の墓地管理料・維持会費のご納入をお願いします。

燈虹塾報告

第6回燈虹塾は8月24日(土)、「和楽器体験講座」を開催。後日参加者からお礼のメールを頂いた。(以下抜粋)

「望月太左衛氏のご説明の後すぐに、本物の楽器を手渡され、プロの演奏家の方と一緒に鼓を打つなんて、想像以上の素晴らしい体験でした。ただ、ほぼ初めての和のリズム、触ったことも無い楽器で大丈夫なのかと心配していたら、その楽しいこと、楽しいこと。上手に出来なくて当たり前と思えば、興味は増すばかりでした。

その後、太鼓で自然の雨、風、幽霊……。いろいろ表現のしかけが解りました。その後も小さな楽器で(正式名称が覚えきれませんが)蝶々がひらひら舞ったり、雨が降ってきたり、子供たちも時間を追うに従って馴染んできたようで、熱気にあふれました。」

お手紙ありがとうございます。望月社中はもちろん燈虹塾メンバー共々喜んでおります。是非、また開きたいと思います!

(燈虹塾事務局長 山崎 哲)

燈炬会布教大会

去る9月1日(日)、西徳寺本堂にて「燈炬会布教大会」を開催させて頂きました。

「燈炬会」は本山佛光寺派の若手布教使の会として年に一度、燈炬会員の寺院を巡り布教大会を開催しております。

今回は山崎哲布教使(東京・西徳寺)・古谷清文布教使(新潟・清伝寺)の2名と、大谷大学教授・三木彰円先生のお話を拝聴しました。

この度は多くの皆様にお越し頂き、燈炬会より厚く御礼申し上げます。有り難うございました。(燈炬会 山崎哲・大橋伊知郎 記)



三木彰円先生

山崎哲布教使

古谷清文布教使

令和元年度 西徳寺 報恩講のご案内

日程：11月2日(土)

- 7時半 晨朝法要(朝のお勤め)
10時 初日中法要
法話 仲井 秀明 布教使
11時半 記念演奏会 西徳寺混声合唱団「エコー」
12時 おとぎ(昼食) ※同封のハガキにてお申込みください
13時半 大逮夜法要
法話 仲井 秀明 布教使
15時半 御伝文拝読(親鸞聖人のご生涯)
拝読者 蓮井 邦宗

11月3日(日)

- 7時半 満晨朝法要(朝のお勤め)
10時 満日中法要
法話 仲井 秀明 布教使
12時 おとぎ(昼食) ※同封のハガキにてお申込みください
13時半 奉讃法座 佛教青年会主催「終活講座」

布教使ご紹介

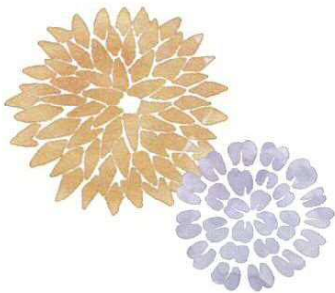
仲井 秀明 師

☆ご自坊：滋賀県草津市 「常教寺」住職

☆ご経歴：本山宗務所勤務 庶務部長
本山役職資格 布教使(親授1級)・御堂式務衆・学階(准学師)
西徳寺での布教ご縁 報恩講布教・春季御差向布教

☆布教使のプロフィール：風貌は、少し色のついた眼鏡をかけられ、世界の違うこわい人と勘違いされる方もおられますが、やさしい語調で関西弁なまりが入り、耳ざわりの良いご法話を聞かせて頂けます。

(脇阪住職 記)



仲井 秀明 布教使

※おとぎの申し込みは**10月29日(火)まで**に、同封のハガキにてお申し込みください。

えこお志お礼

台東区 青木 公子 様

ご浄財を頂戴いたしまして
ありがとうございます。
ご芳名の掲載をもって
お礼とさせていただきます。



仏具磨きのご案内

11月2日(土)、3日(日)の西徳寺報恩講に向けて、恒例の仏具磨き・本堂清掃等のお手伝いを募集いたします。皆様におかれましてはご多忙のことと存じますが、共に仏具を磨き清々しい心持ちで報恩講を迎えたく、ご協力をお願い申し上げます。滅多に触れることのできない本堂のお荘厳に触れていただき、お寺を身近に感じていただければと思います。昼食もご用意しておりますので、皆様のご参加、お待ちしております。

日時:令和元年10月23日(水) 午前10時～

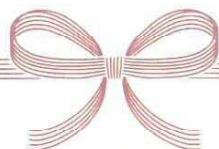
服装:動きやすく汚れても構わない服装

申込:03-3875-3351 西徳寺寺務所までご連絡ください。



Relation ～縁～

Relation: 関係、関連、結びつき



巻頭フォト：麻布善福寺

平安時代(824)、真言宗の開祖空海が開いたお寺で、関東では浅草の浅草寺に次いで古い。鎌倉時代、親鸞聖人が立ち寄られ、了海上人はその高德に触れ浄土真宗に改宗したといわれる。了海上人は佛光寺派の4代目門主に当たり、重要文化財の了海上人像をご安置するお堂に掛かる額(巻頭フォト右上)は佛光寺第29代真照がお書きになられたもの。

本堂は大空襲で焼失、現在の本堂は昭和36年に、徳川家康が建立した東本願寺八尾別院を移築したものであり、欄間から飛び出してくる龍(巻頭フォト左上)に圧倒される。平成20年に大修復が施され荘厳な雰囲気。

また、親鸞聖人がお持ちになっていた杖から枝葉が伸びたといわれる「逆さ銀杏」は樹齢750年の都内最古の天然記念物。11年には城南・城西ブロックで善福寺参りを計画! 紅葉してるといいなあ。
(山崎 哲 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

 saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook